

臨床実習Ⅱ

JR 広島病院

外科

《実習目標》

JR 広島病院は広島市東区唯一の総合病院であり、広島駅に近い良好な立地条件の下、新病院移転により新たな診療部門（緩和ケア病棟、人工透析室、化学療法室、検診センターなど）も加わり、さらなる癌診療の強化など地域医療の発展のため努力している。外科は手術が中心の診療科であるが、新病院で加わる新たな診療部門における外科医の役割も大きく、他科との連携も含めた全病的なサポートを学ぶことも重要である。

甲状腺・乳腺外科、一般外科、消化器外科（胃、大腸、肝胆膵など）など幅広く手術を見学し、緊急手術（急性虫垂炎、消化管穿孔など）の対応も学ぶ。手術のみならず、術前診断および病態や術式を理解し、手術患者や家族との良好な意思疎通に努め、輸液療法などを含めた術後全身管理や合併症に対する早期診断や処置などの一連の経過を、患者と共に体感し学ぶ。

都市部の総合病院であるが、市内の4大病院に比較し規模が小さい反面、細かい所に目が届くような手作り感があり、院内の雰囲気もよく、平静な心をもって実習できる。

《到達目標》

- ① 術前患者の問診、身体診察が適切にでき、術前画像診断や検査結果を説明し疾患・病態・術式を理解する。術前カンファレンスにて受け持ち手術患者の症例呈示をして、疑問点や治療計画等について説明発表できる。
- ② 手術に参加し、術前に得た解剖学的知識や画像診断と照らし合わせ、肉眼的な立体的構造を理解し、安全な手術の進め方を感じることができる。
- ③ 術後の輸液療法、心肺疾患・糖尿病などの併存疾患の治療を含めた全身管理の重要性を認識し、術後合併症に対する処置の意義を理論的に理解する。
- ④ 患者とその家族に誠実にふれあい良好な意思疎通ができ、適切な信頼関係をつくることができる。
- ⑤ 縫合・糸結びなどの外科基本手技、手洗い含めた清潔不潔を意識したガウンテクニックができる。

- ⑥ 受け持ち患者の症例の診断、手術、術後経過を要約し、疾患や治療についての教科書的理解や文献的考察を行い、自分なりに得た知見・感想を含めたレポートを指導医に提出できる。

《実習内容と日程》

実習内容と日程は、指導医の予定や手術内容などにより変更あるため、基本的に朝 8:30 のオリエンテーションで確認する。

病棟患者の超音波や術後透視検査と処置、外来患者の小手術などは随時あるため、指導医の指示により参加する。

月曜日

8:30－ 8:45	オリエンテーション（医局、担当指導医）
9:00－12:00	手術（手術室、担当術者）
13:00－17:00	手術（手術室、担当術者）

火曜日

8:00－ 8:30	英文文献抄読会（医局）
8:30－ 8:45	オリエンテーション（医局、担当指導医）
9:30－10:00	外科病棟回診（外科病棟、担当回診医）
10:00－12:00	外来診察・検査（外科外来、担当外来医）
14:00－16:00	甲状腺外来（外科外来、担当外来医）
17:00－17:30	消化器カンファレンス（内科放射線科ほか合同）

水曜日

8:00－ 8:30	術前カンファレンス、カルテ回診（外科外来、担当指導医）
8:30－ 8:45	オリエンテーション（医局、担当指導医）
9:00－12:00	手術（手術室、担当術者）
13:00－16:00	手術（手術室、担当術者）

木曜日

8:30－ 8:45	オリエンテーション（医局、担当指導医）
9:15－ 9:45	外科病棟回診（外科病棟、担当回診医）
10:00－12:00	外来診察・検査（外科外来、担当外来医）
12:00－12:30	勉強会・説明会（場所不定）
14:00－15:00	栄養サポートチーム回診（カンファレンスルーム、担当指導

医)

15:00－17:00 手術（手術室、担当術者）

金曜日

8:30－ 8:45 オリエンテーション（医局、担当指導医）

9:00－12:00 手術（手術室、担当術者）

13:00－17:00 手術（手術室、担当術者）

《評価項目のポイント》

下記ポイントを中心に指導医が評価し診療科長に報告して決定する。

- ① 遅刻・出欠席および実習への積極的参加の有無
- ② 基本的外科手技と医学的知識の獲得
- ③ 適切な身だしなみ・服装と患者への診療態度
- ④ 患者および家族との信頼関係の構築力
- ⑤ 受け持ち患者のレポートの内容や症例のプレゼンテーション能力
- ⑥ 指導の受け入れ能力・行動内容